

令和２年度 地域における男女共同参画の推進について

市においては、「第２次 越前市男女共同参画プラン」が策定され、地域における男女共同参画の推進に関する数値目標が設定されています。令和３年度の自治振興会の女性役員の参画についての数値目標は、１５．０％、防災組織への女性の参画については３０．０％となっています。

令和２年度末の自治振興会の女性役員の参画についてのパーセンテージは１３．６％で、昨年度末１５．６％より２．０ポイント下がっています。防災組織への女性の参画については２８．３％で、昨年度末と同じ数値になっています。

また、市では地域や企業・団体等において男女共同参画を進めるため、男女共同参画推進会議委員を委嘱し、１人ひとりに、自治振興会や企業団体等と連携して、各活動に取り組んでいただいています。本年は、任期２年の最終年度でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言が発令され、自治振興会等の行事も全て中止となりました。推進会議委員を中心に各自治振興会等で取り組んでいただいている「ひとり１事業」も実施できない状況となりました。

こうしたなか、男女共同参画推進会議は研修等を２回開催しました。

１回目は、SDGs@地方創生と題して、カードゲームを使った研修を行いました。これからのまちづくり、地方創生を考えるときに、各自がSDGsの視点を持ち、話し合い、取り組むことが大切であり、まちの魅力が仕事をつくり、仕事があるから人が来る、人がいるからまちが魅力的になるように、すべては繋がっていることを学びました。

２回目は、家庭・地域・職場の各グループに分かれて、問題点・解決策・そのために開催してほしい講座等について意見交換を行いました。各グループとも活発な発言、真剣な討議が続きました。講座についても、コロナ禍で人数制限があるので、リモート活用で参加の幅を広げる必要がある等の意見が出ました。来年度は、第２次越前市男女共同参画プランの見直しの年に当たりますので、こうした意見は、プランに反映させていきたいと考えています。

男女共同参画のベースは、地域社会です。コロナ禍にあってもできること、コロナ禍だからこそ取り組まなくてはならないこと等について、今後とも、男女共同参画推進会議委員の方々のご協力をお願いいたします。